

家主向け勉強会を4年ぶりに開催

新しい

不動産の

カタチ

特別編



早川 眞市 社長

Profile プロフィール

はやかわ・しんいち
福岡市出身。1950年9月11日生まれのおとめ座。90年に社長就任。趣味は将棋と読書

出席者に感謝の言葉を述べる
早川眞市社長

不動産管理業を中心に、売買、仲介、建築・リフォームを手掛ける株早川不動産は9月21日、博多サンヒルズホテルで4年ぶりに家主向け勉強会・セミナーを開催。家主に関心の高い「インボイス制度」について顧問税理士が解説したほか、同社社員が賃貸住宅やリフォーム業界の動向、不動産の有効活用として物件の用途転換などを説明した。今回の「新しい不動産のカタチ」は特別編として、120人が出席した勉強会と、その後に行われた懇親会の模様を報告する。
(制作・ふくおか経済企画開発部)



黒田 彦
平戸市長



福田 衛
福岡市議会議員



木原茂之税理士が講演



120人で満席となった勉強会会場



勉強会の後には懇親会を実施し、180人が出席

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2019年以来に実施した勉強会・セミナーには120人が出席。その冒頭で早川眞市社長は「4年ぶりの勉強会開催にも関わらず、大勢の家主様に参加いただき、ありがとうございます。本日は不動産賃貸オーナーに役に立つ情報を数多くお伝えしたい」と挨拶した。勉強会ではまず、木原税理士法人の木原茂之代表が「まだ間に合うインボイス制度」と題して講演。10月から施行された同制度について、店舗や事務所、駐車場など課税売り上げとなる賃料への対応や、注意点など対策すべき点を解説した。

次に、早川不動産各事業部の担当者が、賃貸住宅やリフォーム業界の動向など不動産に関するトレンドを説明。同社が取り組んできた

木造アパートからトランクルームへの転用、空きスペースを活用したコインランドリー事業などを紹介した。「19年の勉強会後には早速、古い木造アパートをトランクルームに転用し、収益性を改善した家主もいた」など有益な情報交換の場になっている家主勉強会。今回、本誌9月号「新しい不動産のカタチ」から勉強会に参加した家主もいるなど、早川不動産が提供する不動産サービスへの関心の高さが伺えた。

また、勉強会後に実施された交流会では最初に、早川社長が福岡市で進む開発や未来像を説明し、成長する福岡の活発な不動産市場をアピール。その後、来賓の福田衛福岡市議会議員が「コロナ感染症が拡大した際、福岡市内の医療従事者にウィークリーマンションを提供するなど、地域への貢献は計り知れない」と激励したのに加え、同社が「ふるさと納税」を寄付する平戸市の黒田成彦市長も感謝の言葉を送った。乾杯後は、招待した家主や取引先企業など180人が懇親を深めるなど、久しぶりの家主会は盛況に終わった。

また、勉強会後に実施された交流会では最初に、早川社長が福岡市で進む開発や未来像を説明し、成長する福岡の活発な不動産市場をアピール。その後、来賓の福田衛福岡市議会議員が「コロナ感染症が拡大した際、福岡市内の医療従事者にウィークリーマンションを提供するなど、地域への貢献は計り知れない」と激励したのに加え、同社が「ふるさと納税」を寄付する平戸市の黒田成彦市長も感謝の言葉を送った。乾杯後は、招待した家主や取引先企業など180人が懇親を深めるなど、久しぶりの家主会は盛況に終わった。

また、勉強会後に実施された交流会では最初に、早川社長が福岡市で進む開発や未来像を説明し、成長する福岡の活発な不動産市場をアピール。その後、来賓の福田衛福岡市議会議員が「コロナ感染症が拡大した際、福岡市内の医療従事者にウィークリーマンションを提供するなど、地域への貢献は計り知れない」と激励したのに加え、同社が「ふるさと納税」を寄付する平戸市の黒田成彦市長も感謝の言葉を送った。乾杯後は、招待した家主や取引先企業など180人が懇親を深めるなど、久しぶりの家主会は盛況に終わった。



株式会社早川不動産
株式会社工スペース建設

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町2-44 TEL 092-611-0001 FAX 092-621-1374
<https://www.hayakawa-0001.co.jp/>

